

令和4年度緑や樹木に関する記事(2023年3月31日)

令和4年度緑や樹木に関する記事(4月～9月)は[こちら](#)です。
令和4年度緑や樹木に関する記事(10月～3月)は[こちら](#)です。

令和5年さくら開花情報(2023年3月23日)

静岡地方気象台は3月19日、静岡市で桜(ソメイヨシノ)の開花を観測したと発表しました。
県内のさくらの開花情報は、静岡県さくらの会のホームページで確認することができます。
静岡県さくらの会「令和5年さくら開花情報」は[こちら](#)です。

安全パトロールを実施しました(東部支部)(2023年3月15日)

令和5年3月15日、東部支部では会員の施工現場の安全パトロールを行いました。



クロマツの植栽現場をパトロール

天竜特別支援学校の樹木剪定のお手伝いしました(2023年3月10日)

令和5年3月10日、静岡県立天竜特別支援学校の樹木剪定をお手伝いしました。
作業は、西部支部を代表して(株)江間種苗園さんが担当しました。



都市樹木のリスクマネジメント研修会を開催しました (2023年3月1日)

令和5年3月1日、静岡県立中央図書館で、都市樹木のリスクマネジメントをテーマに公共緑化技術研修会を開催しました。参加者は行政関係者や本会会員35名。講師に、(一社)地域緑花技術普及協会代表理事の細野哲央先生(農学博士、樹木医、千葉大客員研究員)をお招きして、午前の講義のあと、午後からは周辺の園地内にあるサクラやケヤキなどの高木を対象に樹木点検の実習を行いました。

	
講義	実習(講師によるデモンストレーション)
	
実習(班別に樹木点検)	実習(班の代表者が点検結果を発表)

(県主催)芝生相談会をお手伝いしました (2023年2月18日)

令和5年2月18日、静岡県農林技術研究所(磐田市富丘)を会場に、静岡県環境ふれあい課の主催による「芝生相談会」が開催され、本会会員も相談員としてお手伝いしました。

相談員には、本会西部支部を代表して、堀之内一友氏(株大瀬造園)、寺田祐一郎(有昭花園)が参加。芝生の管理方法だけでなく、植栽木などの相談にも応じました。



浜松特別支援学校の緑化活動のお手伝いをしました (2023年2月15日)

令和5年1月31日、県立浜松特別支援学校で、プランターへの花苗の移植作業をお手伝いしました。参加者は同校高等部1年生、2年生、3年生(園芸班)、指導は本会西部支部の天龍造園建設(株)の新聞亭さん、内山智弘さん、山田明音さんが担当しました。移植した花苗は、令和4年10月28日に播種作業をしてから生徒さんたちが育苗管理したものです。プランターは、卒業式のフラワーロードとして飾るそうです。



技術研修会(3次元点群データの活用)を開催しました (2023年2月7日)

公共緑化技術研修会(3次元点群データの活用)を開催しました。

1 日時 令和5年2月7日(火)13:30~15:40

2 場所 (講義)静岡市産学交流センター「ペガサート」7階 小会議室1
(操作体験)駿府城公園(二の丸芝生広場)

3 主催 (公社)静岡県造園緑化協会

4 内容

(1) 講義 「VIRTUAL SHIZUOKA」三次元点群データを活用したまちづくり

<講師>県建設政策課イノベーション推進班 主任 桑原直哉氏

県は、将来の災害に備えて現況の3次元点群データを蓄積しようと、航空レーザー計測によって県内のほぼ全域(人口カバー率100%)の3次元点群データを取得した。3次元点群データは、オープンデータとして公開し誰でも自由

に無償で2次利用が可能となっているので、災害などの国土管理に限らず、幅広い分野での活用が期待されている。(G空間情報センターのHPでダウンロード可)

(2) デモンストレーション

モバイル端末を使用した3次元計測アプリの紹介

<講師>(株)建設システム 営業部本社第1営業所 勝間田和也氏

LIDAR機能を搭載したiPad Proを使用すれば、手軽に3次元測量が可能。(但しスキャナーから5mの範囲)。

ICT土工(小規模)、床掘工、小規模土工、に向いている。現場で測量精度が確認できることが利点。



講義



駿府城公園内にて操作体験



①評定点、検証点の計測



②iPad Proによる地盤のスキャン

<松枯れ被害対策>予防剤樹幹注入研修を開催しました(2023年1月31日)

令和5年1月30日から2日間、県立森林公園内(浜松市浜北区)において、<松枯れ被害対策>予防剤樹幹注入研修会を開催しました。

樹幹注入は松を守る有効な方法である一方、適切に実施しないと形成層障害や導水障害などにより悪影響を及ぼすこともあることから、一定の知識と正しい施工技術を修得してもらおうと、静岡県(森林整備課)と共催で実施しました。造園会社のほか行政や団体32名(うち本会員は7名)が参加。

初日の講義では、松枯れ被害の現状と対策のほか、予防剤メーカーによる説明を受けました。

2日目は、同森林公園内のマツ林内に入って、受講者全員が樹幹注入の実習を行いました。



中部支部が高校生のインターンシップ事業を行いました (2023年1月27日)

令和5年1月27日(金)、静岡県立美術館(静岡市駿河区)の園地にて、本会中部支部(源平剛士支部長)が県立静岡農業高等学校のインターンシップ事業の知識・技能講習を開催しました。

当日の参加者は、同校環境系2年生の生徒26名と、中部支部会員30社32名です。生徒さんの体験就労は全4日間、最初の3日間は会員の16社に分かれて造園業の実務を体験、4日目の最終日に全員集合して美術館周辺の樹木剪定の講習を行いました。

生徒さんは、会員から整姿、剪定技法の説明を受けながら、切除すべき枝を慎重に見極めながら真剣にハサミを動かしていました。





浜松特別支援学校の樹木剪定をお手伝いしました (2023年1月26日)

令和5年1月23日から、浜松特別支援学校の植栽木の剪定をお手伝いしました。

作業は、本会西部支部の天龍造園建設(株)が担当し、枝が伸びてしまった高木や枯れ松も整理しました。



作業前(築山周辺の高木が作業対象)

剪定作業中



作業後(すべり台を覆っていた高木もスッキリ)

東部支部「(消費税)インボイス制度」研修を開催しました (2023年1月18日)

令和5年1月18日(水)沼津市内の「プラサヴェルデ」にて、東部支部主催の研修会「(消費税)インボイス制度」を開催しました。講師は、本会顧問税理士で公認会計士の村松淳旨様にお願ひしました。講師から、制度の概要や今後の対応で注意すべきポイントをわかりやすく説明して頂きました。当日は会員の代表者や経理担当者ら15名が参加しました。



渡井東部支部長あいさつ



渡邊副会長あいさつ



研修会の様子

天竜特別支援学校で緑化活動をお手伝いしました (2023年1月18日)

令和5年1月18日(水)、静岡県立天竜特別支援学校において、プランターへの花苗植栽をお手伝いしました。指導は、本会西部支部を代表して(株)江間種苗園の江間正章さん、みどり園(株)の高林智宏さんが担当し、植栽を行ったのは中学部の生徒7名、先生4名です。参加者は、植栽方法の説明を受けたのち、パンジーとノースポールの2種類の花苗をプランターに植栽しました。プランターは、高等部卒業式のフラワーロードになるそうです。



沼津視覚特別支援学校の樹木の剪定作業をお手伝いしました (2023年1月18日)

令和5年1月17日から2日間掛けて、県立沼津視覚特別支援学校に植栽されている樹木の剪定作業をお手伝いしました。作業は、東部支部を代表して、(株)植正園が担当しました。

事前に学校から要望のあった、校庭から枝が公道にはみだした高木などの枝を落としました。



櫻井会長、小林副会長が川勝知事に年始挨拶をしました (2023年1月5日)

令和5年1月5日(木)櫻井会長、小林副会長が県庁を訪れ川勝静岡県知事に年始挨拶をしました。知事室には、(公財)静岡県グリーンバンクの鈴木理事長、八木専務理事も一緒に入室しました。

森副知事、高畑くらし・環境部長に挨拶を行いました。



川勝知事へ年始挨拶



森副知事へ年始挨拶



高畑くらし・環境部長へ年始挨拶

「緑の宝」2023 新年号を発行しました (2023 年 1 月 5 日)

「緑の宝」2023 年新年号はこちらです。

(掲載内容)

- ・会長あいさつ
- ・知事あいさつ
- ・特別支援学校緑の保全事業、緑の相談所
- ・緑化巡回アドバイザー 芝草管理
- ・みどりのおたより(静岡県さくらの会)、造園施工管理技士会だより
- ・ガーデンフェスタ北海道 2022
- ・三保松原を守る 特定外来生物クビアカツヤカミキリ
- ・表彰(優秀施工者)、若手技術者紹介 ほか

静岡県建設産業セミナー2022 (2022 年 11 月 30 日)

静岡県建設産業セミナー2022 が開催されました。

記

日時 令和 4 年 11 月 30 日(水)13:30~15:30

場所 静岡労政会館 5 階会議室(静岡市駿河区)

内容

【第 1 部】

(テーマ) 天気予報の見方と気象災害への備え

～現場でできる防災・減災～

(講師) (株)ウェザーマップ 気象予報士 久保井朝美氏

(内容)

○天気予報を上手に使う

・天気予報の的中率(降雨の有無に限定)は 83%

・気象庁による明後日までの天気予報の更新は

5 時、11 時、17 時の 3 回/日

・週間天気予報の更新は 11 時と 17 時の 2 回/日

・気象予報における時間帯の表現は統一されている

|0時～|3時～ |6時～|9時～|12 時～|15時～|18時～ |21 時～

|未明 |明け方 | 朝 |昼前 |昼過ぎ|夕方 |夜のはじめ|夜遅く

○気象災害を知る

・200 mm/日以上以上の降水量は、過去(1976～1985 年)と比べると 1.5 倍

・気象庁の HP で予報、雨雲の様子、危険度分布(土砂災害、浸水、洪水)を
チェックできる。

○災害へ備える

・気象庁が発表する「警戒レベル」と

市町村が発表する「住民への避難情報」に注意

※[気象庁ホームページ](#)から最新の情報を入手することが大切。

【第 2 部】

(テーマ) ICT 活用による新たな施工体制、施工の工夫について

(講師) 静岡県交通基盤部未来まちづくり室長 増田慎一郎氏

(内容)

○静岡県が取り組んでいる「VIRTUAL SHIZUOKA」構想の説明

・航空レーザー計測によって県内の 3 次元点群データを取得し

オープンデータ化した。* 県内カバー率は 86%

・G 空間情報センターから入手可能

○3 次元点群データの活用事例紹介

・災害発生現場における被害状況把握と災害復旧の迅速化

○デジタルツイン(現実世界と仮想世界)

・仮想世界でシミュレーションしながら現実世界へフィードバックし
新しい技術を実装することでより良い社会を実現していく

(参考)

点群データを活用して静岡県を仮想空間上に再現する取組事例を
動画でご覧になれます。

【VIRTUAL SHIZUOKA ～3次元点群データでめぐる伊豆半島～】

【河津桜】

県立浜松特別支援学校の緑化活動をお手伝いしました (2022年10月28日)

令和4年10月28日、浜松特別支援学校では卒業式に向けフラワーロードを準備しようと、高等部一年生の園芸班3名による播種作業のお手伝いをしました。講師をつとめた天龍造園建設(株)の新聞亨さん、内山智弘さん、山田明音さんから作業手順の説明を受けた後、セルポットにビオラ、パンジー、ナデシコの種播きをしました。来年1月頃に予定しているプランターへの移植まで育苗をサポートします。



セルポットへ播種

浜名湖花博 20周年記念事業実行委員会第2回総会の開催 (2022年10月19日)

令和4年10月19日(水)県庁にて、浜名湖花博20周年記念事業実行委員会第2回総会が開催されました。総会では、①名誉顧問及び実行委員を追加するための会則の一部改正(案)、②記念事業基本計画(案)、③令和4年度収支予算の変更(案)、④構成員負担金の考えた方(案)について事務局から説明があり、全て承認されました。

参考) [浜名湖花博 20周年記念事業の紹介 HP](#) (事務局: 静岡県経済産業部農芸振興課)

沼津視覚特別支援学校の花苗植栽をお手伝いしました (2022年10月11日)

令和4年10月11日(火)、静岡県立沼津視覚特別支援学校において花苗植栽をお手伝いしました。

花苗の植栽を行ったのは、小学部2年生5名のほか、地元西連合自治会からも8名の方が参加して頂きました。また、協会からは東部支部の(株)植正園さんに御協力頂きました。

子供たちは、(株)植正園の半田健治さんから花苗の植え方の説明を受けた後、4種類(ストック、ランタナ、ビデンス、パンジー)の花苗を、先生や地域の人達と一緒に丁寧に植え付けました。

最後に、子供たち全員から、「色々なきれいな花を植えることができて楽しかった」などの感想を発表してくれました。



植え方を説明((株)植正園 半田健治さん)



植え付け



水やり



綺麗な花壇が出来ました

その後の花壇の様子(谷山副校長先生から写真を提供して頂きました)



10月11日(植栽日)



10月28日



11月10日



11月24日